

衛藤えんよう プロフィール 昭和32(1957)年11月17日生まれ 大分市出身

●大分市役所に23歳で奉職(税務部、秘書広聴室、福祉部、教育委員会、企画部、商工部、都市計画部)。佐藤益美市長の対話集会(年150回超)を担当し、市民目線の重要さを叩き込まれる。職員として、日本の大衆文化を禁じる韓国で大分市つかこうへい劇団公演を実現させ、2002年のワールドカップでは、大分市の情報発信やイベント会場を大成功に導く。黒木瞳さんや阿部寛さんと全国CMに出演し話題となる。大分市に事務事業の外部評価制度を導入し、行政評価システムを立ち上げる。48才で早期退職。

●国会議員の公設秘書として政権交代。県内外に多くの人脈を持つ。

●医療・介護・福祉現場を学び、行政へ生かす施策の必要性を痛感する。認知症サポーター養成講師を務め、患者や家族への理解に取り組む。ラジオパーソナリティとして優しい語り口が人気を博す。

●2017年2月、草の根選挙で初当選。厚生委員会や総務委員会などに所属。しがらみのない無所属議員として、市民が納得できない施策は厳しく指摘し、良案には全面的に支える立場をとる。

小学6年生でサッカーを始める(大分市スポーツ少年団1期生)。鶴崎工業高校卒、日本大学中退。

1

市役所奉職4年目、ほぼ毎晩の市長対話集会で「市民目線」の重要さを学び、「生活者」が行政の原点であることを肝に銘ずる。



2

大分市が直木賞作家つかこうへい氏と劇団を結成し、韓国や東京ほか全国34カ所公演。大分市の情報発信を成功させる。



3

代議士秘書として、大分市と永田町を駆け巡る。



4

医療法人事務長として、医療・介護・福祉の現場と市民の声を行政に届ける必要性を痛感する。認知症サポーター講師やラジオパーソナリティとして人気を博す。



5

再び政治の世界へ！子どもが夢を描ける未来、高齢者が幸せを感じる社会！



6

生活者第一！

行政の点検と市民目線の政策提言！税金、公金のムダづかいをしっかりとチェック！



生活者第一！



大分市議会議員候補
えんよう えんよう

無所属

衛藤 延洋

大分市
行政職員

代議士
秘書

医療
従事者

の経験！

大分市議会議員選挙は2月21日(日)です

2月15日(月)から市役所・支所、2月18日(木)からホルトホールで

期日前投票ができます。(大分大学は2/17・2/18のみ)

<https://en-oita.com>

YouTube

衛藤えんようのえんちゃんねる

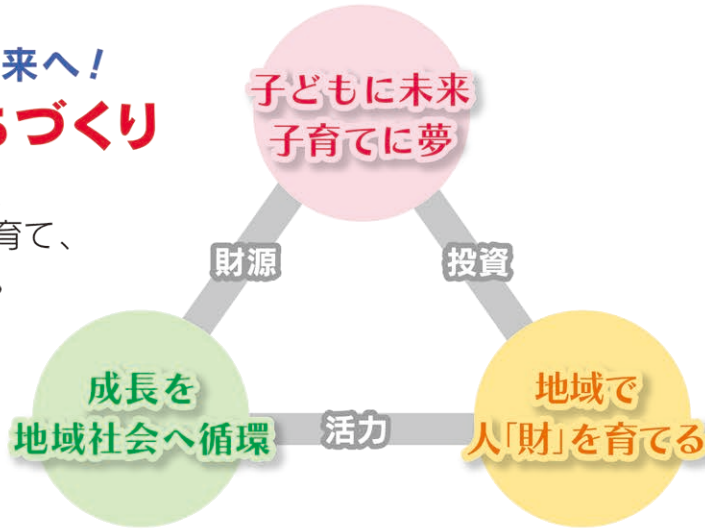


資格

国会議員政策秘書、一級イベント業務管理士
行政書士、くもん学習療法実践士、防災士

感染症に打ち勝つ 持続可能な未来へ! 人づくりがまちづくり

子育てを喜びにつなげ、
地域を支える人「財」を育て、
成長を社会へ循環する。



✓ 市民目線の政治

生活者が普通に抱く認識や感覚で政策提言する政治。

※生活者とは、納税者・消費者・勤労者など市民全体のことです。

✓ 真っすぐな政治

青臭いと言われようが、初心を忘れず、正しいことは「正しい」、おかしいことは「おかしい」とただす政治。

✓ 草の根の政治

組織や団体の力に頼ることなく、しがらみのない市民一人ひとりが輪となって支える政治。

☆生活者第一!

例えば現役世代の皆さんは、企業人と生活者(家庭)の顔があります。

私は、皆さんが「生活者=家庭」に身を置いたときの環境を支えていきたいと考えています。そこには、ご両親、ご夫婦、そしてお子さんたちの明るい笑顔があります。

そんなご家庭を将来世代まで「持続可能な未来」を引き継げる役割を担いたいと考えています。

これが、私がモットーにしている「生活者第一!」です。

持続可能な未来へ 衛藤 えんよう 重点政策

写真はイメージです

子育て支援の強化

子ども医療費の所得制限を撤廃し、小学生の医療費の無料化を目指します。母親の心身の健康を守り支援する「(仮称)産後ケアセンター」の設立を目指します。

児童虐待ゼロへ!

市と警察や関係機関との更なる連携強化に努めるとともに、児童福祉士を増員し行き届いた子ども家庭支援センターの充実で子どもを虐待から守ります。

どの子どもひとりにしない

不登校・発達障害・医療的ケア児など、すべての子どもたちの学ぶ権利を守ります。

学校整備の充実

ひとクラス30人以下の学級編成に取り組みます。

災害時の避難所にもなる体育館のエアコン整備を目指します。



給付型奨学金の拡充

進学に際し就学の機会を確保できるよう現実に即した制度や支援額へ拡充します。

「感染症との共存」時代への対応

生活様式の変化をとらえ、医療従事者の経験から新常态(ニューノーマル)を見据えた変革に取り組みます。

安心できる地域包括ケアシステムの確立

第8期計画で、特別養護老人ホームやグループホーム、介護老人保健施設の充足を目指します。

認知症予防検診の実施や見守りネットワークの強化に取り組みます。

障がい者スポーツ施設の検討

障がい者が安心できるスポーツ施設の整備をすすめます。

安全な防災・防犯対策

避難所へ備蓄倉庫と複数熱源の導入に取り組みます。ハード整備とあわせソフト面での市民の防災・防犯意識を高めます。



旧態依然からの脱却

右肩上がりの経済成長の時代は過去のこと。バブル崩壊後の不況・財政難で、厳しい現実があり、より健全な自治体経営が求められます。25年の行政経験を活かし、不要不急の事業から市民一人ひとりへ行きわたる「生活者第一!」の予算に取り組みます。

地球温暖化対策

新駅(仮称 下郡駅)設置をはじめ鉄道等の公共交通輸送を推進し、当面の低炭素社会実現に向けての対策を進めます。

歴史と自然を後世につなぐ

文化財として貴重な累代墓の古墳群である「(仮称)小牧山古墳公園」の整備に取り組みます。

